

授業科目名	日本語教育	単位数	2単位
担当教員名	奥元さえ美	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係 該当なし			
授業のテーマ及び到達目標 ・日本語教育の基礎知識を多角的な視点から考察する。 ・英語、中国語、ポルトガル語と同様に、日本語を一つの言語として捉え、理解する。 ・日本語教師として必要な知識の修得、プラス α の知識を見つけて探求する。 ・外国人学習者をどう捉えるか、考え方を理解する。			
授業の概要 日本語教育の現場で自信を持って教壇に立ち、実践的に活動できる日本語教員養成を最終的な目標としている。そのために日本語教育の基礎となる分野の知識を得る。日常的に使用している日本語という言語を一度分解し、学習者に伝えるための手法、コミュニケーション能力の基礎知識を学ぶ。日本語教師養成コース受講生は日本語教師ということをも最初に理解するためにも、本科目を最初に履修することを推奨する。			
授業計画 イントロダクション：世界と日本の社会と文化、日本における在留外国人施策、多文化共生、日本語教育の歴史、日本語教育史 第1回：第1章「言語としての日本語」言語政策とことば、多言語・多文化主義、世界と日本の言語教育事情、一般言語学、対照言語学 第2回：第4章「文字・表記」常用漢字表、筆順、送り仮名、現代仮名遣い、日本語教育のための文字と表記、日本語教育のための日本語分析 第3回：第4章「文字・表記」外来語の表記、ローマ字 日本語の文字の歴史1、日本語教育のための文字と表記、日本語教育のための日本語分析 第4回：第5章「語彙」語彙、語種、語構成、日本語教育のための形態・語彙体系、日本語教育のための日本語分析 第5回：第3章「文法」日本語文法と国文法、品詞分類、動詞の活用、日本語の文法的特徴、日本語教育のための文法体系、日本語教育のための日本語分析 第6回：第3章「文法」学習項目6「名詞文」～12「存在文と所在文」、日本語教育のための意味体系、日本語教育のための日本語分析 第7回：第3章「文法」学習項目13「自動詞と他動詞」～18「授受表現」、日本語教育のための意味体系、日本語教育のための日本語分析 第8回：第3章「文法」学習項目19「助詞」～22「に」と「で」の用法、日本語教育のための語用論的規範、日本語教育のための日本語分析 第9回：第2章「音声学」学習項目1「音」～5「子音」、日本語教育のための音韻・音声体系、日本語教育のための日本語分析 第10回：第2章「音声学」日本語のアクセント、イントネーション、プロミネンス、日本語教育のための音韻・音声体系、日本語教育のための日本語分析 第11回：第6章「社会言語学」敬語、方言と共通語、待遇・経緯表現 第12回：第6章「社会言語学」コミュニケーション・ストラテジー、言語接触、言語・非言語行動、談話理解 第13回：第7章「心理学」第一言語習得（母語の習得）と臨界期、言語学習、習得過程（第一言語） 第14回：第8章「第二言語習得」第二言語習得の理論の基礎、言語学習、習得過程（第二言語）、中間言語分析、学習ストラテジー 第15回：第8章「第二言語習得」第二言語習得における学習者の母語話者の影響、異文化受容・適応、異文化間教育、異文化コミュニケーション、日本語の学習・教育の情意的側面			
スクーリングでの学修 (1)「日本語教師」「日本語教育」を広義的に解釈する (2)国文法と日本語文法の違いを理解し、学習者の視点で学習者のための日本語教育とは何かを考え、日本語を新しい言語の一つとして捉えていく			
テキスト 高見澤孟 著、監修、ハント蔭山裕子、池田悠子、伊藤博文、宇佐美まゆみ（2016年） 増補改訂版『新・はじめての日本語教育・1』アスク出版			
参考書・参考資料等 ・スリーエーネットワーク編著「みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版 本冊」スリーエーネットワーク 978-4-88319-603-6 ・スリーエーネットワーク編著「みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 本冊」スリーエーネットワーク 978-4-88319-646-3			
学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			